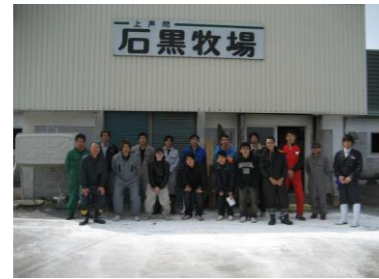


平成23年度視察研修



今回の春期視察は沼川支部、豊別のTMRセンター・ドリームアグリと、上声問の石黒茂雄牧場を視察しました。

秋期視察は札幌方面で、牛乳無料配布の翌日に、千歳市の北海道オリオン工場と、江別市の小林牧場を視察しました。今年は行事も数多く、粗飼料収穫から堆肥散布作業の時期が大幅に遅れた中での視察となりましたが、参加した部員は、それぞれ異なる生産現場の中で見聞を広める事が出来ました。24年度は、道東方面を予定しています。



第60回全道JA青年部大会 ～実績発表～

12月の道青協全道大会で実績発表大会に出場しました。発表者の田頭支部長を中心に準備を進め、発表では『仲間づくり』を題材として、これまで取り組んできた食育事業・



消費拡大事業のほか、ビールまつりや酪農まつりなどの支部活動を紹介しました。優秀賞という結果は、合併後2年間の活動における確かな手応えとなり、今後に向けて大きな自信となりました。

平成24年度の活動計画

4月	道青協総会、宗青協総会(TPP反対デモ行進)	
	消費拡大運動(女性部合同)	春の交通安全ホワイト作戦(豊富)
5月	スポーツ交流会	食育事業(豊富小園場支援)
7月	豊富支部ビールまつり	ぬまかわ酪農まつり(協賛)
8月	宗青協スポーツ交流会	
9月	農水省ファームステイ受入	秋の交通安全ホワイト作戦(豊富)
10月	秋期視察研修(道東方面)	青年団体交流(豊富) 食育事業(紙芝居)
11月	道青協海外研修(欧州)	宗青協秋期研修 秋期勉強会(豊富開催)
12月	道青協全道大会	
1月	冬期勉強会	新年会・新人歓迎会
2月	JAカレッジリーダー研修	道青協リーダー研修
3月	第3回定期総会	

JA北宗谷青年部は次年度においても盟友間の“絆”を強めながら、北宗谷地域と酪農を元気づけられるような活動を展開して参ります。次年度も宜しくお願いします。

青年アミーゴ

JA北宗谷青年部通信

Vol. 2

2012/3/30

平成23年度“仲間づくり”を振り返って…

我々JA北宗谷青年部は、活動テーマを“仲間づくり”として活動をすすめて参りました。平成23年度の活動を報告したいと思います。

豊富支部ビールまつり／ぬまかわ酪農まつり

前年度は口蹄疫の発生により、地域のイベントとして定着しているビールまつりを中止。今年度は3月の東日本大震災。自粛も検討する中『地域にも元気が必要』と開催を決定。しかし一番草の収穫が遅れ、役員は困難を極めながらの準備となりましたが、当日は晴天に恵まれ、町内はもとより町外からも多くの人が集まり、2年ぶりの賑わいを見せました。



被災した方々のためになれば…と、今回は収益の一部を義援金として寄付をしました。ビールまつりの恒例行事となっている“牛乳早飲み競争”も行いました。消費拡大事業の一環として始めたゲームですが、毎年子供たちに好評で何回もやりたがる子が続出でした。ゲームに関係なく牛乳が好きなお子を見るのは生産者として嬉しい限りです。



ぬまかわ酪農まつりもビールまつり同様に自粛。2年ぶりの開催は晴天に恵まれました。沼川支部でも出店し、フランクフルト・焼き鳥・カキ氷、ゆでとうきびを販売しました。毎年、市街から大勢の来客があるぬまかわ酪農まつり。今回も例年にない来客数で、夏の一大イベントを大いに盛り上げてくれました。

この豊富支部ビールまつり・ぬまかわ酪農まつり出店は、両支部活動の中でもメインとなる一大イベントです。24年度も盛大に開催する計画ですので、ご期待ください！また、昨年並みの晴天になる事を祈って…☆

消費拡大事業 ～顔出しパネル～

『仲間づくり』を共同作業で形に残そう！という事で制作した顔出しパネル。施肥作業の合間を縫っての制作となりました。豊富支部ではサロベツ湿原センター、沼川支部では稚内ふれあい公園にそれぞれ設置しました。沼川支部設置の際は牛乳の無料配布も実施し地域の消費者により良い形でPRする事が出来ました。現在も設置されていますので、是非ご覧になって(顔を入れてみて)下さい！



消費拡大事業 ～牛乳無料配布～

昨年度の旭川買物公園に続き、今年度は札幌駅にて無料配布を実施しました！今回は札幌という事で、昨年度実績の豊富牛乳200個に稚内ノンホモ牛乳100個を加え300個を配布しました。さすが札幌駅というべきか、濱本部長の「牛乳の無料配布です！」の第一声にてあつという間の行列。牛乳もあつという間に配布終了。予想通りの結果でしたが、その中で「牛乳が好きだ」「豊富、稚内はいい所だね」慌ただしい配布の中で、消費者の確かな声を聞く事が出来、消費拡大の啓蒙と共に北宗谷地域のPRも十分に出来ました。



24年度は、女性部と合同で無料配布を予定しています。青年部と女性部が一丸となって消費拡大を呼びかけ、北宗谷の酪農・北宗谷の牛乳をPRしていきます。

食農教育支援事業

今年度から青年部全体を挙げて、地域の子供達に向けた食育事業に取り組んでいます。昨年度から実施している豊富小学校学級菜園の圃場作り支援と、保育園での食育を題材にした紙芝居の読み聞かせ、今回は沼川保育所と目梨別保育所で行いました。



我々の職業でもあり地域の基幹産業でもある酪農の知識を深めつつ、食べる事の大切さを学んで欲しい…「好き嫌いをすると大きくなれないよ！」「残さず食べよう！」といった題材の話を読み聞かせる中で、子供達は真剣に聞き入っている様子でした。友情出演のウシ君も大人気！子供達は大喜びでした。質問コーナーでは「茶色い牛からはコーヒー牛乳が出るの？」子供ならではの自由な発想にこちらも笑顔がこぼれました。



豊富小学校学級圃場支援は、今年もJAバンク食育事業とのタイアップにより、種・苗・肥料の寄贈をするとともに、青年部員により堆肥・石灰材を散布し、ロータリーでの耕起も子供達の前で実演しました。

最初はオリエンテーションで、行程の説明と子供達からの質問。子供達は機械に興味を集中し、窓から見えるタイヤショベルやトラクターをみて「あれは何をする機械？」答えは見てのお楽しみ(^o^)



昨年見た子もいましたが、普段馴染みのない機械に釘付けとなっていました。当日は小雨交じりの肌寒い天気でしたが、部員の中でも特に子供達の父親部員が大活躍でした！5月中旬の作業でしたが、昨年は春の低温が続いたので植え付けが通常より遅れていても植生に影響は無かったようです。この圃場支援を初めて2年目。確実に圃場は良くなっています。『野菜(食べ物)を生み育てるための“土”の大切さ』を伝えていく事も食育事業を継続し携わっていく上で重要な事と捉え、今後も活動していきたいと思ひます。